

夏の足跡

2011
SUMMER

この夏、静岡県代表として東海、全国大会で熱戦を繰り広げた若きアスリートたち。学習意欲に燃え、自ら灯台村塾の門をたたいた若き塾生。光輝く子どもたち取材した。



omaezaki junior high school softball club

第33回全国中学校ソフトボール大会出場 御前崎中学校 ソフトボール部

目標は県大会出場だった。自分たちがやってきたことの全てをぶつけて戦うことを部員全員で誓った。地区予選の初戦、大須賀中に22対1で快勝し、チームが勢いづいた。その後、2勝して一気に目標をクリアした。自分たちらしいプレイをしようとして臨んだ県大会は、延長戦までもつれ込んだ試合を2試合制し、見事、準備した。チームを指揮する田島圭監督は、「この子たちは、日々の生活でも苦手なことから逃げ出さない。その姿勢が試合結果に出た

のでしよう。いい経験をさせてもらい子どもたちの自信にもつながりました。試合中、私は、ほとんどサインを出しません。情報は与えるが、あとは自分たちで考えてプレイする。それが御中スタイルです」と語る。東海大会でも他県の強豪校を次々に破り、初の全国大会出場を果たした。京都で開かれた全国大会では、初戦で惜しくも敗れたもの、全国大会を戦った誇りと自信は来年度のチームに確実に引き継がれていくことだろう。

